

令和7年度 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業（岩倉市教育委員会）

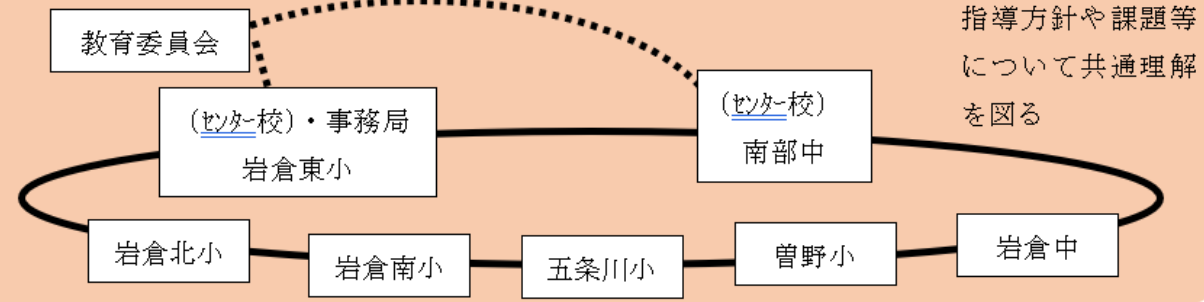
【課題】

外国にルーツを持つ児童生徒に対して日本の学校や日常生活に適応できるよう学習面・生活面における指導体制を整備する必要がある。

【実施事業の概要】

- ・日本語・ポルトガル語適応指導教室連絡協議会の実施
- ・拠点校、センター校の設置
- ・特別の教育課程の整備と指導評価の一体化
- ・市費ポルトガル語（2人）、フィリピン語講師（1人）、英語講師（1名）の配置
- ・プレスクールの実施
- ・ICT活用
- ・日本語教室公開・情報交換会の実施

日本語・ポルトガル語適応指導教室連絡協議会



【期待される主な効果】

個別の指導計画の作成と評価結果を踏まえた見直しにより対象児童生徒の日本語力を高める

日本語力が低い児童生徒に対して、学校生活や授業時間における個別支援が可能になる

保護者への連絡・相談の円滑化

学校生活適応指導・プレスクールの実施による小学校生活への接続の円滑化（毎年20名程度）

学習内容の視覚的提示による学習効果の向上

日本語教室公開により地域住民の理解を深め、他市町の実践例や研究例の情報交換をし、課題解決を図る

・習熟度が上昇した児童生徒
213人（88%）

・個別支援が必要な児童生徒への指導実施割合 100%

・学校生活適応指導
利用者数 22人

・日本語教室公開の参加者数
76人